

脳卒中

早期受診で

ティーピーイー

tPA

血栓(血のかたまり)を溶かす薬

早期に治った

ティーアイイー

TIA

一過性脳虚血発作

KYOTO MEDICAL ASSOCIATION

BeWell

医師会からの健康だより

■発行／一般社団法人 京都府医師会

これだけは知っておきたい
健康の知識

VOL. 68

脳卒中は、脳の血管が突然詰まったり破れたりして、その領域の脳の働きを失う病気であり、要介護者になる最大要因です。今回のBeWellは、脳卒中からあなたを守るために必要な知識をご紹介します。



～生徒さんが命を救ったあたたかいお話～

ある日の朝、登校した中学生A君が、倒れている人がいるのを見つけ、すぐに職員室に先生を呼びに行きました。先生が見に行くと、意識不明の重体であり、すぐに119番通報し、救急車で病院に運ばれました。病院に着いたのは、元気な姿を最後に確認できた時から"2時間後"、頭部CTやMRIで超急性期脳梗塞と診断し、"4時間半"以内にtPAを注射することができました。tPA注射後から意識が回復し、翌日には立てるまで回復しました。その後無事に職場復帰を果たされたのです!



脳梗塞 早期受診で tPA(ティーピーエー)!

脳卒中とは 脳の血管が

突然詰まる「脳梗塞」、突然破れる「脳出血」や「くも膜下出血」をひとまとめにした総称です。

詰まったのか?

破れたのか?



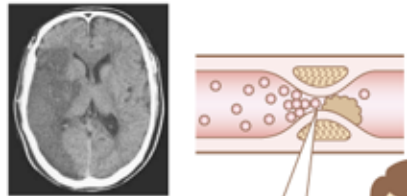
この正反対の病気を診断し、一刻も早く治療を始めることが、大切なあなたを救うことになるのです!

脳卒中にもいろいろ...

脳の血管が 突然 詰まる

脳梗塞

血管が詰まることで、その先の脳細胞に血流が行きわたらなくなり、酸素や栄養分を送ることができず、障害が生じる病態のことです。



ここに再び血が流れるようにするのが tPA の役割だよ!



脳の血管が 突然 破れる

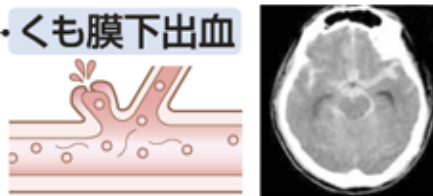
脳出血

脳の中の細い動脈が破れて、脳のなかに出血することです。



くも膜下出血

血管の分岐点にできた瘤(こぶ)が破れ、脳と脳をまもるクモ膜の隙間に出血することです。

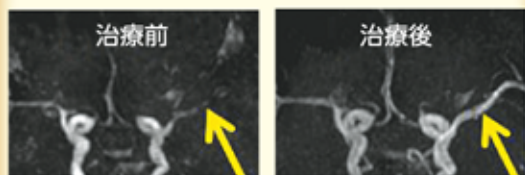


tPA治療とは...

脳の血管が詰まったら、「もうあかん」と脳梗塞が出来上がりますが、その一歩手前に「まだ助かる」ごく短い時間が存在しているのです。この間に、詰まった血管に再び血を流すことができたら、まるで「眠れる森の美女」が目覚めたかのように、劇的に回復するのです!



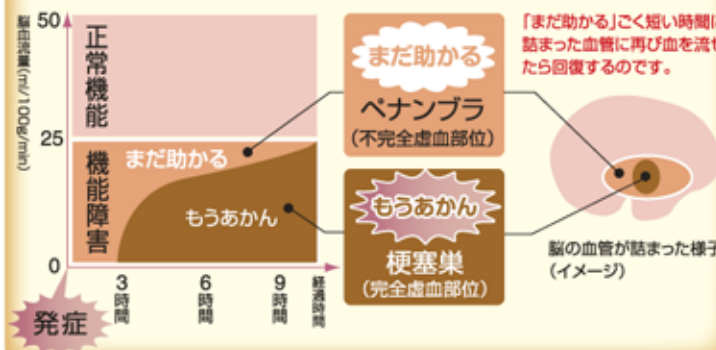
tPA 静注療法による脳血管再開通



図の矢印の血管に再び血液が流れ始めたことを示します。



脳の動脈が詰まった後の時間の流れ



脳卒中? 顔・腕・言葉で すぐ受診!

脳卒中を強く疑う症状は、

- ① 顔がゆがんでいる **Face**
 - ② 片方の手足に力が入らない **Arm**
 - ③ 言葉を話さない・呂律が回らない **Speech**
- の3つです。

このような症状が突然起こった場合には、**急いで救急車を呼ぶ(119番通報する)ことが大切です。**



Face 顔の麻痺

顔片側が下がる。ゆがみがある。

Arm 腕の麻痺

片腕に力が入らない。

Speech ことばの障害

ことばが出てこない。ろれつが回らない。

Time 発症時刻

気づいたら発症時刻を確認してすぐに119番を

1つでも症状が出ていたら

119番



「脳卒中」は一昔前までは、治療法がなく寝たきりになる病気とされていました。今では治せるようになったのです。ただし、症状が出てから治療開始までの時間が短いことが鍵となります。脳卒中以外の病気でももちろんこのような症状が突然現れる場合がありますが、「普段の状態と明らかに違う」と思うときは救急受診することをお勧めします。

欧米では、「①顔(Face)」「②腕(Arm)」「③言葉(Speech)」の異常があれば「時刻(Time)を確認して救急受診」することの頭文字をとり、「FAST(急げ!)」という標語で強調しています。

私たち日本人には、

"脳卒中? 顔・腕・言葉で すぐ受診!"

といった標語がなじみやすいかもしれません。

TIA

脳卒中 前ぶれ発作も すぐ受診!

ある日の夕食中、突然右手に持ったお箸を落とし、言葉を話せなくなりましたが、15分後、元通りに回復しました。よかった、ひと安心...でしょうか? 今日早めに寝ようと寝入った翌朝、右半身は完全に動かなくなりました。

夕食中

15分後

翌朝

回復しない脳梗塞の発症 右半身が動かない!

TIA (一過性脳虚血発作) こんな時は 急いで救急受診を!

脳の血管が詰まり「もうあかん」と脳が悲鳴をあげた直後に、再び血が流れるようになり、「ひと安心」と回復する病気を「一過性脳虚血発作(TIA)」と呼びます。「TIA」は何も治療しなければ、そのうち少なからずの方が「もうあかん」まま回復しない脳梗塞を発症することが分かってきました。

そのため、「TIA」は重要な「前ぶれ発作」であり、脳梗塞同様に急いで救急受診することをお勧めします。



脳卒中からあなたを守る十カ条!

脳卒中にならないために大切な3つの柱は、

1
原因となった
病気の治療2
生活習慣の改善3
お薬による治療

です。



このうち1つが欠けただけでも、脳卒中を発症する危険度が高まります。

日頃からチェックする習慣を持ちたいですね!

脳卒中の発症を予防するためには、危険因子と呼ばれることの管理が大切です。このような危険因子が無い場合は有る場合よりも脳卒中になりにくいと同様に、すでに有る場合も、放置するのではなくきちんと管理した方が脳卒中になりにくくなるのです。

日本脳卒中協会では、このような危険因子を分かりやすい十カ条で強調しています。このような危険因子には、お薬で管理できるものもありますが、食生活の見直しや適度な運動も合わせて行うことをお勧めします。

脳卒中予防十カ条

- 手始めに **高血圧** から治しましょう
- 糖尿病** 放っておいたら悔い残る
- 不整脈** 見つかり次第すぐ受診
- 予防には **タバコ** を止める意志を持って
- アルコール** 控えめは薬過ぎれば毒
- 高すぎる **コレステロール** も見逃すな
- お食事の **塩分・脂肪** 控えめに
- 体力に合った **運動** 続けよう
- 万病の引き金になる **太りすぎ**
- 脳卒中** 起きたらすぐに病院へ

日頃の
チェックを
大切にあなたは、いくつ
あてはまりますか?
 に✓してみましよう

京都府脳卒中登録事業とは ～よりよい脳卒中医療のために～

- 平成元年より京都府から京都府医師会への委託事業として「京都府脳卒中登録事業」を行っています。本事業では、京都府内で脳卒中診療を行っている主たる医療機関において、診療した脳卒中患者を登録し、さらに登録患者の後遺症の程度などについて追跡調査しています。
- 調査結果は京都府へ提出し、脳卒中発症から社会復帰を目指す過程における問題点を改善する大切な資料となります。
- 増え続ける脳卒中对策のため、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます!

※本事業は、京都府個人情報保護条例(平成8年京都府条例第1号)第4条第5項「収集の制限」の適応除外の事例に該当しており、条例に抵触しません。

一般社団法人 京都府医師会

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6 TEL:075-354-6101(代表)
<ホームページ>http://www.kyoto.med.or.jp <E-mail> kma26@kyoto.med.or.jp

●発行 WINTER 2013 ●